

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和 7年 2月 26日

事業所名：ほのぼの学級

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・ 体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	3	0	0	・子どもさんにとってわかりやすい環境となるよう、場所の構造化を工夫しています。	8	1	0	0	・欲を言えばもう少し広いとよい。	・整理整頓に心がけ圧迫感のないように配置を工夫し、子どもさんが楽しめる活動を提供しながらスペースを有効に活用していきます。
	2 職員の適切な配置	3	0	0	・要医療児への支援や機能訓練についても専門的に支援が行える体制を整えています。	9	0	0	0	・園に看護師一名だと何かあった時に不安なのでもう一名ほどおられたらよいと思う。	・医療ケアの必要な子どもさんが登園するには必ず看護師が勤務するようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	3	0	0	・活動に使用する道具を設定した上で周囲の刺激を調整し、子どもさんが活動内容を理解しやすいような環境整備を行っています。	9	0	0	0		
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	3	0	0	・日頃から清掃・換気・消毒を徹底して行い、子どもさんが安心して生活できる環境を整えられるよう配慮しています。	9	0	0	0		
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	3	0	0	・年度ごとの事業計画の作成に全員が関わり、業務の改善を進めるために目標と振り返りを行うことで意識を高めています。						
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	0	0	3	・第三者による外部評価は実施していません。						
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	3	0	0	・園内研修やWEB研修に関して、積極的に取り組みました。園外研修への参加も少しずつ従来通りの参加に戻りつつあります。また、園長、児童発達支援管理責任者による新人研修を行っています。						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	3	0	0	・年2回、個別の年間支援計画を作成し、保護者の方に公表しています。	/	/	/	/	
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・保護者の方に支援に関するニーズの聞き取りを行ったうえで、各クラス職員・児童発達支援管理責任者・保護者の方とでミーティングを行っています。また子どもさんのフォーマル、インフォーマルな評価を適切に行い、その情報とミーティングで話し合った内容を基に支援計画を作成しています。	9	0	0	0	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	3	0	0	・支援計画に関しては5領域の視点を踏まえて、具体的な支援内容を記載しています。	9	0	0	0	
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	3	0	0	・子どもさんそれぞれの状況や興味を鑑みて優先順位を決め、年間支援計画を作成しています。それをもとに個々の活動と集団活動を組み合わせ生活日課を組むようにしています。	/	/	/	/	/
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	3	0	0	・個別に支援計画に基づいた連絡ノートを作成し、保護者の方にも支援の進捗状況がわかるようにしています。また、日々の支援が適切に行えるようクラス内で個々の支援について情報を共有しています。	9	0	0	0	
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	3	0	0	・日々の生活日課や活動のプログラムについては、子どもさんの興味やそれぞれの支援計画に合わせてクラス内で相談し、立案しています。	/	/	/	/	/

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
適切な支援の提供	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	3	0	0	・日々固定化しないよう工夫しています。発達年齢・生活年齢を考慮し、楽しめる遊びを提供できるよう努めています。また季節に合わせた活動体験ができるよう、内容や参加の仕方なども検討しています。	8	0	0	1	・療育参加等で見学がいつでもできますので、ぜひご相談ください。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	/	/	/	非該当	/	/	/	/	
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	3	0	0	・療育前のクラス準備やクラスミーティングの前に、支援内容とその方法の周知を行っています。新しい支援を開始する前、また変更点に関しては特に念入りに打ち合わせをしています。	/	/	/	/	
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	3	0	0	・療育後に振り返りや伝達を行っています。クラス職員全員での振り返りが難しいこともありますが、情報を共有できるように直接もしくは間接的に報告し、連絡漏れがないよう努めています。	/	/	/	/	
	11 日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	3	0	0	・日々の記録については支援計画に沿って個々に作成した連絡ノートに記録されています。子どもさんが安心感や満足感が得られる支援内容になっているか日々振り返り、適切な支援が行われるよう努めています。また、それを基に月ごとの記録を作成し、支援の変更の必要がないか確認しています。	/	/	/	/	
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	3	0	0	・半年に1回モニタリングを行っています。子どもさんの状況に応じてその都度支援の見直しを行っています。保護者の方には半年に1度モニタリングの結果を開示しています。	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価			保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	3	0	0	・児童発達管理責任者と各担当が参加できる体制を整え、よりよい会議になるよう努めています。					
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	3	0	0	・利用している医療機関や事業所からの情報収集、情報共有をするための連絡調整を行い、連携した支援が行えるように努めています。					
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	3	0	0	・緊急時、直ちに医療機関への受診ができるよう、体制を整えています。主治医に園での処置の方法や緊急時の対応について確認し、共通理解の下医療ケアを行うようにしています。					
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	3	0	0	・卒園時には保護者と共同でサポートブックを作成し、それを基に学校や事業所などの関連機関と引継ぎ会を行い、情報共有をしています。					
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	3	0	0	・放課後等デイサービスを利用する際には、保護者の方と一緒に作成したサポートブックを基に引継ぎ会を行っています。					
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	3	0	0	・愛媛県立こども療育センターの研修を受講している。					
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	0	3	・幼稚園・保育所などとの交流の機会の設定は行っていません。ひよこ園では、インクルージョンに不可欠なこととして、本人のセルフエスティームを育むこと、また保護者の方が子どもさんの持つ特性に起因する困り感に気づけるようになり、自ら子どもへの配慮や支援が考えられる「よき理解者になる」ことだと考えています。ひよこ園事業の療育支援はその点に重点を置いています。並行通園の子どもさんには、療育等支援事業の施設支援を実施し、情報交換や情報共有を行っています。	2	0	2	5	・保育所・認定こども園・幼稚園との交流の機会についての考え方は事業所の現状評価欄に記載しています。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
と関係連携	8	0	0	3	・現在はボランティアさんの受け入れを控えています。	/	/	/	/	
保護者への説明責任・連携支援	1	3	0	0	・利用者負担等に関しては、重要事項説明書に記し、入園説明会や契約の際に細かく説明しています。また、園内にも掲示しています。支援の内容については、個別懇談等で進捗状況を説明し、情報共有しています。	9	0	0	0	
	2	3	0	0	・年間支援計画を開示する際、支援の詳しい説明をするともに使っている支援グッズについても説明を行い同意を得ています。	9	0	0	0	
	3	3	0	0	・全体懇談会、療育参加、クラス懇談会などにより、保護者の方に子どもさんの特性理解や支援の方法、関わり方などの情報提供の機会を多く持つようにしています。また、月1回の個別懇談でご家庭での困りごとを確認し、助言を行ったり支援の現状について情報共有を行うことで連携を図っています。	9	0	0	0	
	4	3	0	0	・支援計画を基に作成された連絡ノートでの日々のやりとりや電話連絡、またはコドモン、そして月1回個別懇談で、状況の共有を行っています。	9	0	0	0	
	5	3	0	0	・月1回の個別懇談や日々の連絡ノート、電話やコドモン、送迎時にやり取りを行っています。気軽に話しやすい雰囲気づくりに心掛け、信頼関係が築けるように努めています。	9	0	0	0	・月一回の個別で聞きたいことも沢山聞けています。
	6	3	0	0	・必要に応じて支援できる体制を整えており、その都度適宜お手伝いをしています。	9	0	0	0	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	3	0	0	・苦情窓口について、いつでも確認できるようコードモンの資料室に掲示しています。苦情があった場合はその内容と対応についてひよこだよりに掲載します(今年度の苦情受付はありません)。	7	0	0	2	・保護者の方が気軽にご意見を出していただきやすい雰囲気や関係づくりに努めています。
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	3	0	0	・子どもさんへの情報伝達の手段として、環境を整えたり状況を視覚的に描いたりして情報をわかりやすくしています。発信については、コミュニケーションカード等を用いて手段の獲得を行い意思疎通が出来るようにしています。 保護者への情報伝達にはコードモン(ICT)を活用しています。	8	1	0	0	・発信については代替手段等を用いて意思疎通ができるよう努めています。 ・保護者への情報伝達にはコードモン(ICT)を活用しています。 ・今後とも保護者の方と的確に情報伝達を行っていきます。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	3	0	0	・全体懇談会や行事について事前にお知らせしています。月1回「ひよこだより」週1回「療育週案」をコードモンで配信しています。	7	1	0	1	・コードモンの資料室に月1回「ひよこだより」を掲載しておりますのでご確認をお願いします。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	3	0	0	・契約の際、個人情報の取り扱いについて保護者の方に説明し、同意書にも署名捺印していただいています。個人情報を含む文書に関しては施錠できる保管庫で保管し、個人情報を含むデータに関しては一元管理を行っています。またヒヤリハット活動により意識統一をしています。個人情報が含まれているものを取り扱う時には、場所を限定する等十分配慮しています。	8	1	0	0	・個人情報の取り扱いには十分注意して療育を行ってまいります。個人のデータに関しましては一元管理を行っています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	3	0	0	・保護者の方には契約時に説明し、園内に掲示するとともにコードモンで常時閲覧できるようにしています。年度初めに職員全体でマニュアル確認を行い、周知徹底しています。また、定期的に訓練を行い、反省や見直しなども行っています。	9	0	0	0	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応	2	3	0	0	・BCPの訓練として非常災害訓練(震災・津波)を行っています。その他強風訓練を実施しており、月に1回は消防訓練を行っています。訓練後、反省と改善点をクラス内で話し合い、主任会でも意見の交換を行っています。また非常災害時もコドモンの活用により連絡手段を確保しています。	8	0	0	1	・先日の避難訓練で本来は県立今治病院への垂直避難とありましたが、当日は実際の避難は園の側までだったという報告書を読みました。ほのぼのの学級の子どもさんにとってかなり難しい支援の手が必要な垂直非難は出来る限り実際の想定場所まで避難をして課題についての振り返りをお願いしたいです。	・愛媛県立今治病院への避難訓練をお願いしましたが、運営の妨げ等の理由で許可をいただくことができませんでした。訓練を試み、その反省をもとに万一来るようによいします。	
	3	3	0	0	・毎年てんかん発作に関するアンケートを配付し、てんかん発作の有無の確認を行っています。また、予防接種や感染症についても適宜確認を行っています。服薬については、与薬表にて受付し、マニュアルに沿って対応を行っています。							
	4	3	0	0	・毎年アレルギーに関するアンケートを配付し、アレルギーの有無の確認を行っています。医療機関を受診していない方に関しては医師の診察をお願いしています。アレルギーのある子どもさんの給食提供は、指示書に応じて除去食(代替食)を提供しています。また提供する際には間違いがないようにトレイの色を変えることや、置き場所などに配慮しています。							
	5	3	0	0	・送迎、睡眠中、プール活動時には安全を確認するための具体的なマニュアルを作成したり、記録をとったりするなどして安全管理に努めています。 園内に危険箇所がないか月1回安全チェックを行っています。							

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
非常時等の対応	6	家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 安全計画については、コドモンの資料室に掲示し、保護者の方がいつでも確認できるようにしています。訓練が実施された場合はその都度コドモンで配信しています。 バス送迎に関しては、園児の降ろし忘れがないようバスに安全装置を設置しています。又添乗員と運転手が園児を降ろした後目視にて降ろし忘れがないか確認し、その後乗降児確認表とクラスの人数のマッチングを行っています。 	8	1	0	0		
	7	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤリハットがあれば、その日の終礼で報告するとともに月1回のヒヤリハット活動で取り上げ解決方法等を共有することで、職員全体の意識を高めています。 						
	8	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修の内容を検討しています。また虐待防止研修やエンパワメント研修を実施したり、日頃の関わりについて検討したりすることで職員全体の意識を高め、より良い関わりができるよう努めています。また今年度は今治市ネウボラ政策課の担当職員を講師に迎え、研修を行いました。 						
	9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 虐待防止・身体拘束適正化委員会を設置しています。座位保持椅子・保護帽の使用にあたっては協議を行い、利用することになった子どもさんに関しては年間支援計画に記載し保護者の同意をいただいています。 						

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
満足度	1	子どもは安心感をもって通所しているか										・今後も子どもさんが、楽しみや安心感をもって通えるよう努力していきます。
	2	子どもは通所を楽しみにしているか										・子どもさんたちが好きなことが増え、楽しく生活できるよう努力していきます。
	3	事業所の支援に満足しているか									・ひよこ園に通い出して特に内面が大きく成長したと思います。	・保護者の皆様が、療育に満足して頂けるよう支援を提供していきます。